

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2002-182887(P2002-182887A)
 【公開日】平成14年6月28日(2002.6.28)
 【出願番号】特願2001-295705(P2001-295705)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 D

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日(2008.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置であって、

印刷設定をするための印刷設定画面を表示する表示手段と、

前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示手段と、

前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示手段により前記印刷設定画面が表示された後、前記指示手段により印刷データの出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力手段と、

前記指示手段により前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】前記印刷設定としてモノクロ印刷が設定された場合には、前記第1出力手段が前記第1の制御命令を出力した後、前記第2出力手段が前記印刷データを出力する前に、前記移行処理においてカラー印刷に関する処理を実行させないための第2の制御命令を前記印刷処理装置へ出力する第3出力手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】前記指示手段は、前記印刷設定画面を介して印刷の指示を示すボタンが押されることに応答して前記印刷データの出力を指示することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理装置。

【請求項4】前記カラー印刷に関する処理は、キャリブレーション処理であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置と、前記印刷処理装置に印刷データを転送する情報処理装置とを有する情報処理システムであって、

前記情報処理装置は、
印刷設定をするための印刷設定画面を表示する表示手段と、
前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示手段と、
前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示手段により前記印刷設定画面が表示された後、前記指示手段により印刷データの出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力手段と、
前記指示手段により前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力手段とを備え、
前記印刷処理装置は、
前記第1出力手段により出力された前記第1の制御命令を受信する第1受信手段と、
前記スリープ状態において前記第1受信手段が前記第1の制御命令を受信した場合に、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を実行する移行処理手段と、
前記第2出力手段により出力された前記印刷データを受信する第2受信手段と、
前記スタンバイ状態において前記第2受信手段が前記印刷データを受信した場合に、前記印刷データに基づく印刷処理を実行する印刷処理手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理システム。

【請求項6】 前記情報処理装置は、

前記印刷設定としてモノクロ印刷が設定された場合には、前記第1出力手段が前記第1の制御命令を出力した後、前記第2出力手段が前記印刷データを出力する前に、前記移行処理においてカラー印刷に関する処理を実行させないための第2の制御命令を前記印刷処理装置へ出力する第3出力手段を備え、

前記印刷処理装置は、

前記第3出力手段により出力された前記第2の制御命令を受信する第3受信手段を備え、

前記移行処理手段は、前記第3受信手段が前記第2の制御命令を受信した場合は、前記移行処理において前記カラー印刷に関する処理を実行しないことを特徴とする請求項5に記載の情報処理システム。

【請求項7】 前記指示手段は、前記印刷設定画面を介して印刷の指示を示すボタンが押されることに応答して前記印刷データの出力を指示することを特徴とする請求項5又は6に記載の情報処理システム。

【請求項8】 前記カラー印刷に関する処理は、キャリブレーション処理であることを特徴とする請求項5乃至7のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項9】 印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置における情報処理方法であって、

印刷設定をするための印刷設定画面を表示部に表示する表示ステップと、

前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示ステップにて前記印刷設定画面が表示された後、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力ステップと、

前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示ステップと、

前記指示ステップにて前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力ステップと、
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項10】 印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置に、
印刷設定をするための印刷設定画面を表示部に表示する表示ステップと、
前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実

行させるための第1の制御命令を、前記表示ステップにて前記印刷設定画面が表示された後、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力ステップと、

前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示ステップと、

前記指示ステップにて前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力ステップと、
を実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置、情報処理システム及び情報処理方法に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る情報処理装置は、印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置であって、印刷設定をするための印刷設定画面を表示する表示手段と、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示手段と、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示手段により前記印刷設定画面が表示された後、前記指示手段により印刷データの出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力手段と、前記指示手段により前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0029
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0030
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0031
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0031】

また、上記目的を達成するために、本発明に係る情報処理システムは、印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置と、前記印刷処理装置に印刷データを転送する情報処理装置とを有する情報処理システムであって、前記情報処理装置は、印刷設定をするための印刷設定画面を表示する表示手段と、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示手段と、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示手段により前記印刷設定画面が表示された後、前記指示手段により印刷データの出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力手段と、前記指示手段により前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力手段とを備え、前記印刷処理装置は、前記第1出力手段により出力された前記第1の制御命令を受信する第1受信手段と、前記スリープ状態において前記第1受信手段が前記第1の制御命令を受信した場合に、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を実行する移行処理手段と、前記第2出力手段により出力された前記印刷データを受信する第2受信手段と、前記スタンバイ状態において前記第2受信手段が前記印刷データを受信した場合に、前記印刷データに基づく印刷処理を実行する印刷処理手段と備えたことを特徴とする。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0032
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正16】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正17】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0035
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0036
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0037
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正20】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0038
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正21】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0039
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正22】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0040
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正23】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0041
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0042
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正25】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0043
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正26】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0044
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0044】

また、上記目的を達成するために本発明にかかる情報処理方法は、印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置における情報処理方法であって、印刷設定をするための印刷設定画面を表示部に表示する表示ステップと、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示ステップにて前記印刷設定画面が表示された後、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力ステップと、前記印刷データの前記印刷処理装置への出力を指示する指示ステップと、前記指示ステップにて前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正27】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0045
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正28】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0046
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正29】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0047
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正30】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0048
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正31】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

また、上記目的を達成するために本発明のプログラムは、印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する情報処理装置に、印刷設定をするための印刷設定画面を表示部に表示する表示ステップと、前記スリープ状態から前記スタンバイ状態へ移行する移行処理を前記印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、前記表示ステップにて前記印刷設定画面が表示された後、前記印刷データの印刷処理装置への出力が指示される前に、前記印刷処理装置へ出力する第1出力ステップと、前記印刷データの印刷処理装置への出力を指示する指示ステップと、前記指示ステップにて前記印刷データの出力が指示されたことに応じて、前記印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する第2出力ステップとを実行させることを特徴とする。

【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 4 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 4 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 4 8
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0 1 4 8】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、印刷処理を実行可能なスタンバイ状態と、印刷処理を実行しないスリープ状態とを有する印刷処理装置に対して、印刷データを転送する

情報処理装置が、スリープ状態からスタンバイ状態へ移行する移行処理を印刷処理装置に実行させるための第1の制御命令を、印刷設定画面が表示された後、印刷データの出力が指示される前に、印刷処理装置へ出力することで、印刷処理装置へ前記印刷設定に基づいた印刷データを出力する前に印刷装置をスリープ状態からスタンバイ状態へ移行させることができる。

【手続補正49】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0149

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正50】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0150

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正51】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0151

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正52】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0152

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正53】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0153

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正54】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0154

【補正方法】削除

【補正の内容】